

風のたより

仙台青陵中等教育学校
第1学年だより第16号
2022.10.21 発行

基礎進路講演会

10月18日(火)6,7校時に体育館で、日本キリバス協会代表理事のケンタロオノ様から『私たちが望む未来=The Future We Want=』というテーマでご講演をいただきました。



前半はご自分がキリバス国籍を取得した経緯やキリバスの紹介、そしてキリバス語でのジャンケンまで楽しみながら話を聞いていました。後半で地球の環境問題が個人の意識次第で問題解決に結びつくというようなお話になると、生徒たちの集中力が高まり、食い入るような姿勢で聞き入っていました。心を揺さぶられる講演会となったようです。

講演翌日にいただいたメールから抜粋して載せますので、また改めて確認して欲しいものです。

地球温暖化からキリバスの未来の子供たちの故郷が守られ、キリバスの子供たちがSDGsの理念が謳うように、誰一人取り残されないためには、『愛の反対は憎しみや恨みではなく無知と無関心』の精神が一番大切であること、そして一人一人の小さな輪の積み重ねから、必ずこの地球を気候変動から守ることができることをお伝え出来、本当に良かったです。皆さんにキリバスと地球温暖化の事を知って頂けたこと、そして熱心に聞いていただけたことに、大変大きな勇気を頂戴しました。話を聞いていただけたことで、一人でも多くの皆さんの関心から、キリバスの未来の子ども達に、日本の子供達と同様に、故郷の島で普通の『当たり前の』暮らしが与えられるという希望をいただくからです。この地球温暖化は我々人間が引き起こした人災です。人災だからこそ我々人間が解決しないといけません。そして、我々人間が解決できると希望を持っています。残された時間は刻一刻と少なくなっていますが、一人一人の小さな意識と行動で、自然は必ず応えてくれます。そのために、そして次の世代のために大切な役割を担っているのは先生方お一人お一人であり、なんとと言っても生徒さんお一人お一人です。また、こんな生き方もあるんだよということ、生徒の皆さんの何かのきっかけとなることを、心から願っています。



新委員・係生徒始動

10月14日(金)に学年集会をおこないました。そこで新旧学年委員が振り返りと抱負を述べました。1学期の学年委員は入学して右も左も分からない状況でも学年を盛り上げようと考えて行動をしてくれました。2学期の学年委員は単に引き継ぐだけではなく、2年生に向けてより良い学年となるように活動をして欲しいものです。